

各位

向暑の候、平素は児童館事業にご理解ご協力誠にありがとうございます。  
でございます。

例年より少し早い梅雨入りでしたが、晴れ間がのぞく日もあり、  
気持ちの沈みそうな時でも、この時期は綺麗な紫陽花の花があちら  
こちらに咲いているのが目に入ると少し心が癒されます。

昨年から続く辛い知らせ…つい先日もお世話になった方、大切  
な仕事仲間の訃報が続き、気持ちも沈みがちです。

コロナ禍でもあり、リフレッシュの機会も持てない日々ですが、休日  
は出来るだけ歩くようにしています。

道端に咲いている花を眺めたり、よそのお宅のお花に見とれたりし  
ながら、故人を思い、ご冥福を祈る日々を送っています。

さみしい悲しい気持ちは心に押し込めて、日々は子どもたちの元  
気を声と持て余すエネルギーの中で、ありがたいことに明るく元気に  
過ごさせていただいています。

子どもたちとお花を眺めるのも楽しいもので、児童館の紫陽花は  
今年も綺麗な花を咲かせてくれました。

土や環境が良いので、紫陽花の株は大きく成長したのですが、私の  
選定が悪かったのか…今年には花が少し少ない気がします。

難しいものですが、ご近所の方に教えていただきながら、今年も挿し  
木に挑戦してみようと思っています。

地域に綺麗な花が咲いていると、なんだか笑顔になります。

今年の周年記念は、笑顔がいっぱいになるお花と言葉を地域に届け  
られないかと、今子どもたちと作戦会議中です。

どうぞお楽しみ…。

令和三年 七・八月号のおたよりに添えて

社会福祉法人 積慶園

京都市嵯峨野児童館

館長 飯吉昌子